

活動テーマ

私たちの暮らす地域で、私たちにできることを探る
～「環境」に視点を当てて～

実践事例について

日吉中学校区内には4小学校2中学校(1校は私立)がある。この6つの学校の児童会・生徒会で構成された日吉子どもサミットが中心となり、6小中学校が共同で参加し、実践している地域の環境保全活動がある。日吉台学区は「花の街づくり」、下阪本学区は「下阪本クリーン作戦」、坂本学区は「坂本ふるさと大掃除」、雄琴学区は「雄琴ヨシ刈り」が各学区メインの活動である。特に、琵琶湖周辺に位置する下阪本と雄琴の活動の際には、シジミやフナの稚魚の放流が合わせて行われている。さらに、そういった水生生物が生息できる環境になっているかを検証するために、地域の河川の水質調査も実施している。

1. 「日吉子どもサミット」について

日吉子どもサミットは、平成2年に日吉ブロックの4小学校2中学校の児童会・生徒会の子どもたちがリーダー研修の場として集まり、何か一緒にできることはないかと考え、結成された。日吉子どもサミットの活動を通じて自分の意見を述べたり、行事を企画・運営したり、地域ボランティアに取り組むなど、社会性を育むことが目的である。

最近では地域の安全マップを作り、子ども目線の地域の課題を地域の方々に発信し交流することで自分たちの暮らす地域をよりよくする活動につなげてきた。今までの「アルミ缶回収」や「地域ボランティア」に継続して取り組む上で、「吉鳥のPR」などの広報活動をさらに強化し、多くの児童・生徒と一緒に活動できるようにと考えている。



*昨年度末の反省の中で、子どもたちからは「もっと地域に対して何かできないか。」という声が上がっていた。日吉ブロックには各学区ごとに何年も続く環境保全の取り組みがある。地域の方々と共に、その活動についてももう一度見直し、考え、「自分たちの住む地域をどんなふうにしていこうか」「そのためにどんな参加の仕方ができるか」地域の活動の歴史やその意味を理解した上で、自分たちについて交流し、具体的に行動していく、そんな「地域の環境」をテーマとした活動を考えてみようということになった。



2. 今年度の活動テーマと基本方針

- ・活動テーマ：
「私たちの暮らす地域で、私たちにできることを探る」
～「環境」に視点を当てて～
- ・基本方針：
 - ①日吉ブロックの児童会、生徒会の児童生徒がボランティア活動を通して友好を深め、地域内のリーダーとして活躍できる場とする。
 - ②サミット会議を開き各校の活動を交流することで互いの活動を理解し、よりよいところを吸収し、各校の学校づくりに生かす。

3. 今年度の活動内容

〈●はエコスクールに関わるもの〉

実施状況

○年間3回の合同会議
(5月30日・8月22日・1月22日)

- ・各校での取り組み紹介・交流
- ・グループ別討論会
- ・地域の方との懇談会
- ・ユニセフ募金と学習会

●アルミ缶回収(通年)

- ・各校分担に従って4月～翌年3月までアルミ缶を回収、リサイクル業者に出し換金する。収益金は全額ユニセフに寄付。「吉鳥」のキャラクターも使い、活動を浸透させている。



●日吉台花の街づくり

(6月10日・9月2日・11月25日)

- ・日吉台小学校、日吉中学校を中心に地域の方々と協力して日吉台学区入り口、市民センター前、小学校前に季節の花を植える。その後の草引き等の手入れも実施。



- 人権を考える大津市民の集い(秋の集会・春の集会) (11月18日・2月17日)
- ・託児所を開設

●下阪本クリーン作戦 (12月2日)

- ・下阪本小学校、日吉中学校の児童生徒が、地域の方々と琵琶湖岸の清掃活動を実施し、シジミの放流も行う。



●坂本ふるさと大そうじ (12月21日)

- ・日吉大社参道の清掃活動を、坂本小学校、比叡山中学校、日吉中学校の児童生徒中心に地域の方々と協力して行う。



●雄琴ヨシ刈り・フナ放流 (1月28日)

- ・雄琴小学校、日吉中学校、地域の方々や企業のボランティアと協力して、ヨシ刈り・フナ放流を行う。



○ユニセフ募金と学習会

(1月22日)

- ・第3回日吉子どもサミット会議にユニセフ大阪支部の方に来ていただき、寄付金の委託式と学習会を行う。
- ☆今年度は35,420円 (アルミ缶回収収益金 12月回収分まで)



各校の取り組み

○日吉台小学校【花の街づくり】に向けて

- ・ポスター掲示
- ・教室に行って話す
- ・各戸へのお知らせプリント配布
- ・前日に放送で呼びかける〈何をするのかなどのクイズを出す〉
- ・アルミ缶回収→学期末に集中して行う

○下阪本小学校

【下阪本クリーン作戦】に向けて

- ・代表委員会での周知
- ・各戸および地域へのお知らせ作成と配布
- ・「ハッピータイムズ」(広報新聞)の記事にして各クラスで掲示
- ・校内放送4回実施 (給食時)



○坂本小学校【坂本ふるさと大掃除】に向けて

- ・学校周辺のゴミ拾い活動3回実施
- ・あいさつ運動での呼びかけ
- ・環境委員会主催「そうじガンバルデー」2回実施

(11月・12月)

- ・児童会CMの作成と放送
- ・朝の放送やポスターで告知
- ・実施方法の工夫(集めたゴミの量を競う学年対抗形式)
- ・坂本クリーンウォークラリー(9月第3日曜日)



○雄琴小学校【雄琴ヨシ刈り】に向けて

- ・総合的な学習の時間の積み重ね
- 1・2年 ヨシを知る
 - ヨシ原探検
- 3年 ヨシを育てる
 - ヨシ植え
- 4年 雄琴川の水質調査
- 5年 湖上からヨシを観察 — カヌーでヨシ原探検・フローティングスクール
- 6年 世界に発信ヨシの良さ —



パンフレット作り／ヨシランプの製作

- ・全校集会やポスター、挨拶運動での呼びかけ

○比叡山中学校

- ・坂本ふるさと大掃除への参加
- ・生徒会執行部による京阪坂本駅前の清掃
- ・ボランティア委員による清掃活動（学校周辺や藤ノ木川、真盛園など）

○日吉中学校



- ・4小学校区の環境保全活動への参加と呼びかけ（ポスターや放送等の広報活動の強化、誘い合い運動）



- ・駅前に花を飾ろう運動（坂本駅前にプランター設置）



- ・科学部の実施する河川の水質調査への協力



4. 成果と課題

*成果

- ・今年はサミットの年間活動テーマに位置づけたことで、子どもたちの意識がさらに高まった。様々な取り組みを子ども達が積極的に考え、周りに発信して行うことができた。その結果活動に参加する人数がどの学校も増えた。また同時に教師や保護者の参加も増えている。
- ・下阪本の浜でシジミの稚貝が見つかったことで、これまでの活動の成果を感じることができた。

*現在の課題

- ・子どもの参加・保護者の参加・地域住民の参加がまだまだ少ない。（休日実施に伴う参加のしにくさ、移動時の安全面の配慮など）

*今後の展開に向けての課題

- ・各活動のフィードバックの方法（取り組みの状況や経過報告をいつどこで行うか。不参加者への還元をどうするか。）
- ・ハード面の支援の必要性（子どもや地域の取り組みだけでは環境整備が困難なことがある。ex. 湖底のヘドロや藻の除去）
- ・水質調査の経年比較の実施（作成したマニュアルにのっとって継続して実施することで、シジミやフナの棲息環境についての科学的な根拠が挙げられるのではないか。）
- ・年間を通じた活動ができないか。（さらに意識向上につなげたい。）



学校名	大津市立日吉中学校
住所	大津市下阪本六丁目38-26
電話番号	077-578-0056
E-mail	hiyosi@otsu.ed.jp